

無性芽を形成するシダの観察

竹下 宏

シダの仲間は、普通胞子による有性生殖を行うが、なかには植物体の一部に無性芽を生じて、増殖する種類があり、日本産のものでは、30数種類が知られている。自生地における数種のシダの無性芽の出芽状況と生活型の相異を観察したので簡単に報告する。

1) オリヅルシダ (*Polystichum lepidocaulon*, J.Sm) オンダ科

観察地 長崎市大崎周辺, 高知県足摺半島
出芽部位 長くのびた中軸の先端部 (図1)

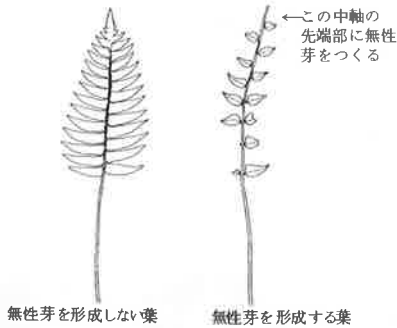


図1 オリヅルシダ

2) ツルデンダ (*Polystichum craspedosorum* Diels) オンダ科

観察地 広島県帝釈峡付近石灰岩上
出芽部位 中軸先端部 (図2)

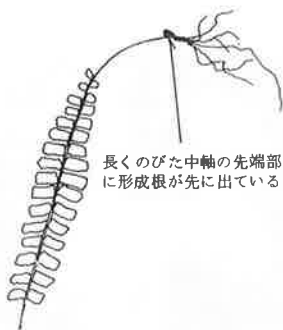


図2 ツルデンダ

3) ヘツカシダ (*Bolbitis subcordata* Ching) オンダ科

観察地 鹿児島県肝属郡大根占
出芽部位 頂羽片先端付近の中軸に接した部分 (図3)

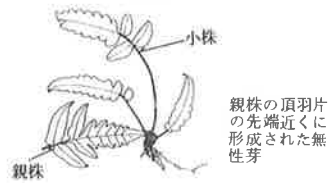


図3 ヘツカシダ

4) イヌチャセンシダ (*Asplenium tripteropus* Ndkai) チャセンシダ科

観察地 広島市安佐町宇賀峡, 佐東町八木
出芽部位 先端部に近い中軸上 (図4)

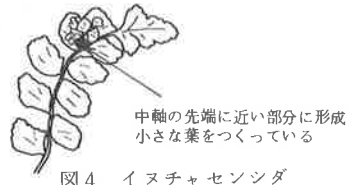


図4 イヌチャセンシダ

5) ヌリトラノオ (*Asplenium normale* Don) チャセンシダ科

観察地 広島市安佐町宇賀峡
出芽部位 中軸先端部 (図5)



図5 ヌリトラノオ

6) コモチシダ (*Woodwardia orientalis* Sw.) シンガシラ科

観察地 廿日市町原, 広島市佐東町八木
出芽部位 小羽片上 (図6)



図6 コモチシダ